

秋がやってきました

10月初旬までは「あついなあ」と思いながら過ごしていたのに、あっという間に秋がやってきました。昨年度と比べると1か月ぐらい早く、職員室前の「高三ビオトープ」に変化が訪れています。



まずはガマの穂です。11月4日に撮影したのですが、よく晴れていたのに今にも飛んでいきそうでした。種が出ているのはこの穂だけで、他の穂はまだ固かったです。

「亀吉」がいる池に植わっているイネ科の植物も穂らしきものを出しています。これからどこかにふわふわと飛んで行って子孫を増やすのでしょうか。

晴れた日に大きく咲いているのは「ガザニア」

です。標準的な開花時期は4月から10月初めまでなのですが、高三小の桜門近くの花壇では元気に咲いています。放送室前では夏の名残のオシロイバナが。朝には花が咲いていたのですが、昼にはしぼんでいました。その代わり、熟した種を発見しました。種を割

ると白い粉が出てきて、子供のころ其れで遊んだ記憶がありますが、子供たちは知っているでしょうか。近くには、風船カズラやヒルガオが咲いています。風船カズラはいつ高三小にやってきたのか、わかりませんでした。気づいたら花を咲かせていました。2年生の男子が「おもしろいものみつけた!」と教えてくれました。「種ができるとハートマークがつくよ」と教えてあげました。



今年はこのあと12月に「落ち葉掃き集会」を考えているのですが、例年よりも早く葉が散り始めています。「12月初旬まで残っていてくれるかなあ」と心配になってきました。